

内部監査手順書(内部監査チェックリストベース)

項番	監査項目	目的分類	リスク	整備	運用(具体的な措置の内容)
1	貨物管理手続体制 (搬出入管理状況)	搬出入管理	担当者が、関係書類のどの部分を見て対査確認すべきかのイメージがない	搬出入した貨物の実態と提出された書類の内容は一致しているか	搬入関係書類(保税運送承認書、ポートノート、送り状等)と貨物との対査確認は確実に行われているか 搬出関係書類(輸出入許可書、保税運送承認書等)と貨物との対査確認は確実に行われているか →日付・対査記録を確認する
2	貨物管理手続体制 (搬出入管理状況)	搬出入管理 記帳管理		搬出入した貨物の実態に即した適正な記帳が行われているか。	保税台帳への記帳やNACCSへの登録業務が手順書等に基づき、速やかに処理されているか 保税台帳への記帳やNACCSへの登録業務を行う際の書類は、確認書類として適正な書類であるか →チェックの記録を確認する
3	貨物管理手続体制 (搬出入管理状況)	搬出入管理		搬出入の実態に即した適正な記帳を行うためにどのような措置を講じているか。 また、当該措置は効果的であるか。	→担当者に具体的に書類を提示させ、又は記帳を実施させて習熟度を確認する
4	貨物管理手続体制 (搬出入管理状況)	搬出入管理		搬出につき必要とされる許可・承認書等を確認しないで搬出した事例はないか。	→イレギュラー貨物の取扱時期や、繁忙期等残存リスクの可能性がある時期の貨物をいくつかサンプリングし、その一件書類を確認する
5	貨物管理手続体制 (搬出入管理状況)	搬出入管理	担当者が変更となった場合に不適切な処理に至る場合が多い	CPと実際の搬出入手続とは一致しているか。	体制組織図、保税業務担当者名簿に記載された担当者により業務が行われているか 責任者は、担当者が社内業務手順書通り手続きを行っているかを確認しているか →関係者へのインタビューにより確認する
6	貨物管理手続体制 (搬出入管理状況)	搬出入管理		CPと実際の搬出入手続を一致させるためにどのような措置を講じているか。 また、当該措置は効果的であるか。	→担当者にCPの内容を質問し、CPの保管場所やCPのどこにどのように記載しているかをヒアリングの上、認識度を確認する
7	在庫管理状況	蔵置管理	実在庫の確認が疎かになってしまいがちである	帳簿上の在庫数量と実際の在庫数量が一致しているか。	貨物在庫状況照会(IWS)による在庫と現物在庫が一致しているか 記録簿等により、定期的に在庫確認を行っている資料は保存しているか
8	在庫管理状況	蔵置管理		長期蔵置貨物について管理等が適正に行われているか。	長期蔵置貨物の定義を理解しているか 長期蔵置となった場合の保税手続は適正に行われているか →長期蔵置貨物報告書(C-3030)等とIWS情報、貨物との対査確認するなど、蔵置期間等を定期的に管理する方策がとられているか 蔵入承認(IS)の意味を理解しているか
9	在庫管理状況	蔵置管理		CPと実際の在庫管理手続が一致しているか。	体制組織図、保税業務担当者名簿に記載された担当者により業務が行われているか 責任者は、担当者が手順書通り手続きを行っていることを確認しているか →関係者へのインタビューにより確認する
10	在庫管理状況	蔵置管理		CPと実際の在庫管理手続を一致させるためにどのような措置を講じているか。 また、当該措置は効果的であるか。	担当者にCPの内容を質問し、CPの保管場所やCPのどこにどのように記載しているかをヒアリングの上、認識度を確認する。 月末に棚卸を行っているか。また、その際の記録は保管しているか
11	蔵置管理体制等	蔵置管理	通関担当者が保税地域のエリアを知らずに、保税地域外に外国貨物を移動させたケースが過去に発生している	保税地域以外の場所に貨物が蔵置されていないか。	担当者が保税地域のエリアを認識しているか 保税地域のエリアが明確にわかる措置(表示、線引き等)がとられているか
12	蔵置管理体制等	蔵置管理	貨物が不規則に置かれ亡失があってもしばらくそれに気づけない	貨物が適正に区分蔵置されているか。貨物のはい付、さし札等が的確に励行されているか。	輸出貨物と輸入貨物は区分して蔵置されているか 貨物の表示(さし札)がわかりやすく、なされているか 危険品、高価品の保管状況は万全であるか
13	蔵置管理体制等	蔵置管理		CPと実際の蔵置管理手続が一致しているか。	体制組織図、保税業務担当者名簿に記載された担当者により、業務が行われているか 責任者は、担当者が手順書通り手続きを行っているかを確認しているか
14	蔵置管理体制等	蔵置管理		CPと実際の蔵置管理手続を一致させるためにどのような措置を講じているか。また、当該措置は効果的であるか。	
15	蔵置管理体制等	貨物保全のための体制整備	誰でも容易にアクセスできてしまう	CPに基づき外国貨物の亡失等を防止し、適正な保全を図るためにどのような措置を講じているか。また、当該措置は効果的であるか(施設面、人的側面それぞれの観点を総合して判断又は記載すること)。	施設面、人的配置の観点から、保全体制は十分か 体制組織図、保税業務担当者名簿に記載された担当者により、業務が行われているか 責任者は、担当者が手順書通り手続きを行っているかを確認しているか

内部監査手順書(内部監査チェックリストベース)

項番	監査項目	目的分類	リスク	整備	運用(具体的な措置の内容)
16	記帳管理状況	記帳管理		帳簿に必要事項が記載されているか。	関税法施行令第29条の2に規定されている記帳項目が記載されているか ≪NACCS民間管理資料による保税台帳の場合≫ 配信データの担当者は、確認簿等を定め、取得忘れの防止に努める 配信データの取出状況を責任者が定期的に確認しているか。また、保存データ(バックアップデータを含む)を定期的に確認しているか IS、マニュアル申告等、NACCS管理資料に反映されないものについて、マニュアル管理台帳の記帳管理は適正に行われているか
17	記帳管理状況	記帳管理	担当者が関係文書の保管場所を把握していない。関係書類が指定場所以外のスペースにあり散逸の恐れがある	輸入許可書等又はその写しが整理保存されているか。	必要な書類は保存されているか。また、保存期間は適切か →イレギュラー貨物の取扱時期や、繁忙期等残存リスクの可能性がある時期の貨物をいくつかサンプリングし、その一件書類の保管場所を確認する
18	記帳管理状況	記帳管理		CPと記帳手続が一致しているか。	体制組織図、保税業務担当者名簿に記載された担当者により、業務が行われているか 責任者は、担当者が手順書通り手続きを行っているか
19	記帳管理状況	記帳管理		CPと記帳手続を一致させるためどのような措置を講じているか。また、当該措置は効果的であるか。	→インタビューにより手順の説明を求める
20	その他のCPの遵守状況	税関への通報体制の整備		通報体制の履行状況は適正に行われているか。	税関、その他関係機関との連絡手順及び体制の更新は適切に行われているか 社内、業務委託先との連絡体制について更新されているか 責任者不在時の対応マニュアルが整備されているか
21	その他のCPの遵守状況	教育訓練についての体制の整備	孫請け会社従業員の教育訓練まで関与できない多様な従業員がおり業務上必要な知識や経験のレベル差が大きい	従業員(下請事業者を含む。)に対する社内研修は十分に実施されているか。またその結果は責任者に報告されているか。	部内研修の開催結果を記録として保存しているか 部外研修等への参加記録を残しているか。また、その内容が社内等で共有されているか 関係法令や通達等の改正に伴い、業務手順書等を遅滞なく改訂しているか
22	その他のCPの遵守状況	評価・監査制度の整備		社内監査制度等を設け、適正に社内監査等が行なわれているか。またその結果は責任者に報告されているか。	内部規定に基づき監査人が任命されているか
23	その他のCPの遵守状況	評価・監査制度の整備		社内研修や、内部監査の結果を受け、どのような措置を講じているか。また、当該措置は効果的であるか。	研修や内部監査の結果を分析・評価できているか(PDCAのCとA)
24	その他のCPの遵守状況	搬出入管理蔵置管理		貨物の入出庫・保管等について社内部門間の相互牽制・責任体制は十分か。	複眼的なチェック体制が採られているときはその体制が有効か、形式的なチェックに留まっていないか、関係者へのインタビューにより確認する
25	その他のCPの遵守状況	その他留意事項		指導・指摘事項が社内全般に波及し、遵守されているか。	問題発生を受け、その原因や未然防止に係る周知が徹底されているか、社内報の発出や社内メールなどの状況を確認する。
26	その他のCPの遵守状況	その他留意事項		その他のCP記載項目を遵守するためのどのような措置を講じているか。また、当該措置は効果的であるか。	CP遵守に係る従業員の意識醸成はどうか、例えば各責任者との業務連絡や対話の状況についてその実施記録やインタビューにより確認する
27	その他	貨物取扱い等管理		貨物の取扱い等が許可の内容どおり適正に行われているか。	外国貨物等の取扱い等は、担当者自ら行うか、又は立会っているか 貨物の取扱いに際し、貨物の異常を確認した場合、速やかに責任者や税関に報告しているか 不適正な税関手続き等があった場合には、総合責任者に報告されているか
28	その他	委託関係責任者		問題となる業務委託はないか。	委託業務の範囲、責任等を明確に定めた委託契約を締結しているか 業務委託先の業務遂行能力、組織等に問題がないか 蔵置場の責任者又は担当者は、受託貨物の性状、取扱注意事項等を把握しているか
29	その他	教育訓練についての体制の整備		税関業務担当者が必要とする法令等の知識及び記帳能力は十分か。	各保税担当者等に役割に見合った知識を持たせるため研修を行っているか 関税六法、基本通達等必要な執務参考図書が整備され、有効に活用されているか NACCSシステムの操作資料、手順書が整備され、有効に活用されているか